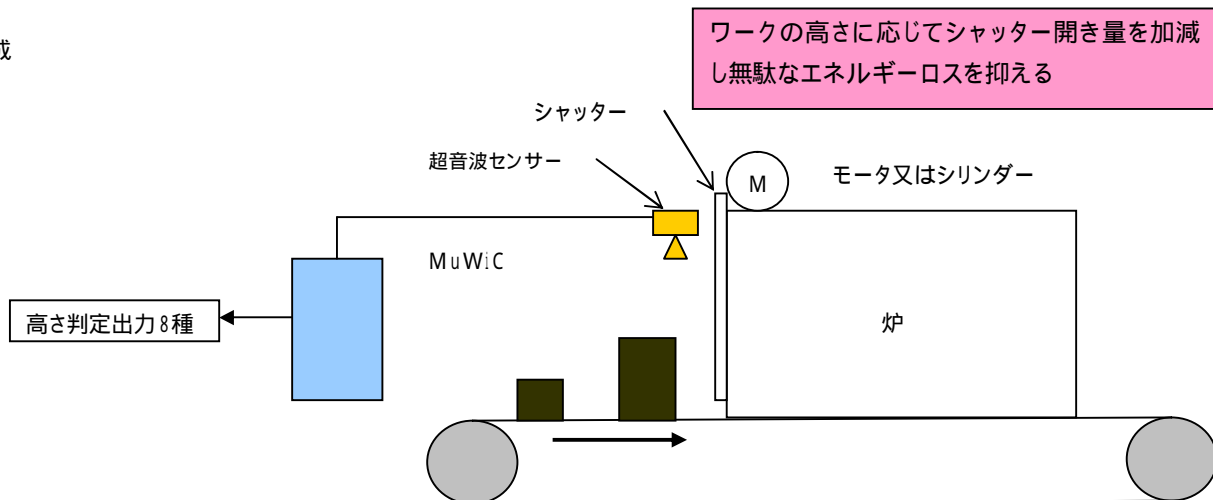


コンベア上を流れて来るワークの高さを検出して、炉のシャッターを通過できる範囲で最小に開き、無駄なエネルギーの漏れを最小に抑えて省エネルギー化を図る。

構成



- 1個の超音波センサーで8種のワークを判別する。
- シャッターがワークに応じた高さ異常には開かないので、放熱が最小限となり、省エネルギーとなる。
- ワーク高さが変更された時も、データの修正で済み、センサー位置の調整は必要が無い。

メリット

- エネルギーロスの減少
- 多品種対応が可能
- 基本 8 品種、応用 16 品種が 1 センサーで設定出来る。

応用例

- 乾燥炉
- 加熱炉
- 冷却炉
- その他